

# CERRESA

NO.216



特集 戦争と戦後の農業体験談

セラサ  
9

<http://www.jaceresa.or.jp/>

2015.September

# Contents

<b>特集</b>	<b>戦争と戦後の農業体験談</b>	<b>3</b>
	川崎探検隊 中野島駅～二ヶ領用水を歩く	8
<b>PICK UP</b>		10
<b>逸</b>	グラウンドゴルフに惹かれて 幸区 池上 五郎さん	14
<b>Hand</b>	研究から不動産事業へ 幸区 中塚 繁さん	15
<b>パワー全開</b>	父と兄を目指して技術を磨く 宮前区 田辺 智崇さん	16
<b>食農</b>	ツルムラサキ	17
	農作業ノート 農薬のローテーション散布 営農技術顧問 片木 新作	18
<b>Healthy LIFE 113-717</b>	血中脂質検査の話	19
<b>mail box &amp; クロスワードパズル</b>		20
<b>J A からのお知らせ &amp; 組織だより</b>	万福寺支部・溝口支部	21
<b>INFORMATION</b>		22
<b>enjoy 7E</b>	橘支部 ボクシングエクササイズグループ	23
<b>Dish Up!</b>	ナスのスタミナ漬け 麻生区 三田 貴子さん	24

## 10月の行事予定

<b>4日(日)</b>	J A セレサ川崎「セレサモス」エキサイトマッチ (14時～、等々力競技場 VSガンバ大阪)
<b>5日(月)</b>	平成27年度青年の主張・活動発表会 (16時～、本店)
<b>12日(月)</b>	体育の日
<b>27日(火)</b>	セレサモス宮前店オープン 定例理事会
<b>28日(水)</b>	女性部連絡協議会レクリエーション大会 (10時～、とどろきアリーナ)

### 【臨時営業のお知らせ】

経済センター・パーシモン  
9月21日(月)～23日(水) 9時～16時30分  
セレサモス麻生店

### 【仮決算棚卸し休業のお知らせ】

経済センター・パーシモン  
9月30日(水) 正午～休業  
10月1日(木) 終日休業

### 【秋季花と緑の園芸まつり開催中止のお知らせ】

セレサモス宮前店の開店準備および諸般の事情により、今年度の開催を中止とさせていただきます。

※日程等は変更されることがあります

## 今月の表紙

### イチジクの収穫作業

今月の表紙は、イチジクの収穫作業に忙しい多摩区枳形の木下新一さん。府中街道に面している畑の防除管理を考慮して、7年前に梨園の一部をイチジク栽培に切り替えました。

現在では、幸水や豊水を中心に8種類の梨の樹を30本、イチジクを17本栽培しています。

今年は、天候にも恵まれ生育は順調。7月下旬から収穫が始まり、梨とともに自宅前の直売所で販売しています。収穫作業は、10月末頃まで続く予定です。



# 戦争と戦後の農業体験談



青年団の動員大会(昭和15年・柿生小学校)  
川崎市多摩農協写真集「わが心のふるさと」より



金子一郎さん(昭和17年)



中田隆さん(昭和19年)



田んぼでの草取り作業(昭和25年・北見方)  
「川崎市中央農協二十年史」より

今年(昭和70年)を迎えた節目の年。戦時中は多くの人たちが戦地に赴き、市内各所でも空襲などにより大きな被害を受けました。現在は、日本の総人口に占める戦後生まれの割合が8割を超え、戦争は過去の話として薄れつつあります。

そこで今号では、市内各区の戦争体験者7人から戦時中の状況と戦後の農業について話を聞き、体験談としてまとめました。

平和な現代が、過去の苦労の上に成り立っている事実を感じていただければと思います。



黒川金次さん(昭和18年)

## 食糧自給し生き延びる

川崎区小田 金子 一郎さん(96)



として食べていました。

自給生活を続けていく中、終戦を迎え、陸・海軍の隊員約10万人が、1万人単位の収容所に入りました。捕虜として宿舎の整備や残飯処理など様々な作業に従事。「特に草むしりが大変で、幅30センチ、長さ50センチほどの場所で一列に並んで作業を行い、少しでも遅れると監視兵に自動小銃で尻を突かれました」。

仲間と帰国を夢見ながら作業を続け、21年4月に無事復員。約3年ぶりに目にした川崎の町は、前年4月の空襲により一面が焼け野原になっていて、すぐに自宅を見つけることはできませんでした。

復員後、水道局に復職し、休日には農作業を手伝い、ネギや戦地から持ち帰ったオクラを栽培。

「当時オクラは一般に普及しておらず、青臭いと敬遠されていました」。収穫した野菜は、出勤前に川崎の市場へ出荷していました。

時代の流れから、近隣には住宅やアパートなどが建ち並び、次第に農地は姿を消していきました。

それでも自宅の脇に畑を残し、一昨年までタマネギやキュウリ、柿などの栽培を続けていました。

昭和18年4月、南海派遣第14野戦郵便隊員として、ニューブリテン島・ラバウルに出征しました。郵便局を開設し、食糧など物資の受け渡しに従事。当初は順調に業務を行っていましたが、マラリア感染や連合軍の爆撃を受け「何度も命の危機に直面しました」。次第に戦況は不利となり、内地から食糧などの補給が停止。方面軍から割り当てられたジャンゲルを開拓し、主食用にサツマイモやタピオカイモの栽培を始めました。主食のほかにもカボチャやナス、白瓜などの野菜を育て、ヘビや蛙を見つけては、貴重なタンパク源

## 復員後園芸栽培に励む

幸区鹿島田 小嶋 輝夫さん(88)

18歳の時「お国のために尽くしたい」と、陸軍特別幹部候補生に志願し、昭和20年7月、兵庫県の加古川教育隊に入隊しました。

陸軍の航空隊で通信部隊になるため、毎日「いろはにほへと」を意味する信号の打ち方を学習。

「少しでも早く身につけようと、兵舎とトイレの往来時などには、言葉ではなく『トン・ツー』などの信号音で伝言していました」。

約20人ずつで班を編制し、勉強や食事は班ごとに実施。食事は米飯とみそ汁、おかずが2、3品つきでしたが、おかわりすることはできませんでした。兵舎で寝泊まりする隣のベッドの仲間とは、戦

友として特別なつながりを持つようになっただけでした。

そうした中、1か月ほど経ったところで終戦を迎え、1週間ほどは残務整理に従事しました。

その後無事に復員しましたが、中国に出征していた兄は、敗戦国の兵士として苦勞をしながら帰国する途中、病気で亡くなりました。

体が弱かった両親の面倒を見るため兄の代わりに農業を継承。生産組合から伝えられる供出の割り当てを果たすため、休む間もなく、米、麦、サツマイモ、ジャガイモなどの栽培に励んでいきました。

22年になると農地改革(解放)が実施され、操車場や軍需工場の代替えとして取得していた市外の畑を、手放さざるを得なくなりました。残された畑で農作業に励みながらも現金収入を得るため、農閑期には印刷工場で働きました。

30年代からは切花栽培を習い大森の市場へ出荷。その後は鉢物栽培を導入し、珍しい品種や変わった色の植物などを育て、園芸農家として歩んできました。

現在でも、長年培ってきた栽培技術を活かしながら、園芸栽培に力を注いでいます。



## シベリアに抑留される

中原区木月 中田 隆さん(86)

15歳で陸軍特別幹部候補生に志願し、昭和19年4月、浜松の第7航空教育隊に入隊。翌年7月、整備隊員として平壤に渡りました。

移動した1か月半後に終戦を迎え、翌月日本へ帰れるとの話で移動すると、港でソ連への荷役を命じられ3か月従事しました。再び日本へ帰れるとの話で船に乗り込むと、着いた先はソ連のナホトカ。「だまされた悔しさでいっぱいでしたが、何もできませんでした」。

ウラジオストクの収容所へ移動し、凍りついた土を砕きながら水道管敷設のために溝を掘り、ビルの基礎工事や住宅建築などを行う毎日。食事は、1日パン1切れ(300<sup>グラム</sup>)の時や朝晩雑穀のおかゆとスープの時もありましたが、満腹になることはありませんでした。「日本へ帰り腹一杯美味しいものを食べよう」が合い言葉でした。約6か月風呂には入れず、服も着古しのまま。栄養失調と劣悪な環境から壊血病と関節リウマチを発症、入院を余儀なくされました。



退院後は炭鉱へ移動し、弱った体で石炭掘りや運搬などを行う過酷な労働を強いられました。23年5月にダモイ(帰国)の命令が出され、念願の帰国が実現しました。

翌年に結婚し、米や麦などの栽培に励み、3年ほど経つと米の裏作としてハウレンソウのほかキャベツなどの野菜栽培も始めました。近隣には住宅が増え始め、少しずつ環境が変化。将来的な需要を見越して自転車の技術を学び、33年に自転車店を開業しました。農業と自転車店を兼業していましたが、さらなる宅地化が進み、農業用水に生活排水が混入。止むを得ず最後の水田を駐車場に転換し、農業に幕を下ろしました。その後、80歳の誕生日に、戦争やシベリア抑留体験を含む思い出の記を本にまとめました。

## 2度も命の危機に直面

高津区北見方 黒川 金次さん(92)

昭和16年8月、戸塚の海軍燃料省に入営。18年12月に甲府49連隊に転属し、韓国経由で中国山東省・棗莊から上海に渡りました。

敵前上陸などの訓練を済ませ、4月中旬に南方に向け出港。各地から出港した船13隻が船団を組み、東シナ海バシー海峡へ出た26日の早朝、乗船していた「ぶらじる丸」に魚雷2発が命中。わずか3分40秒で沈没しました。海上ではハッチの蓋に掴まり必死の思いで助けを待ち、約6時間後、駆逐艦に救助されました。「乗船者3100人の内、わずか407人が救助され、九死に一生を得ました」。

その後マニラに移り、3か月演習を実践し、8月中旬にセレベス島に向け出港しました。10日ほど経った26日、乗船していた船に再び魚雷が命中。船荷の孟宗竹にしがみつき、2日2晩寝ずに漂流した末に救助され、目的地に上陸しました。しばらくは訓練や1人用の防空壕作りなどの作業を続ける日々。「船に積んできた食糧や武器

は海に沈んでしまったため、先に進むこともできませんでした」。

島では自分たちで開墾し、サツマイモやウリなどを栽培。農業経験があったことからイモ作りの班長を任され、仲間から頼りにされていました。

終戦を迎えると捕虜として兵舎内だけでの生活を強いられました。が、21年6月に帰国できました。

復員後、すぐに北見方生産組合の供出係を命じられ、1年位は向丘の農業会実行組合に通いながら農作業を行っていました。供出は耕作面積に応じて割り当てを決め、供出してから配給を受けるため、自分たちが作った農産物でも自由に食べることはできませんでした。その後も長年に亘り農業を続け、現在は自宅横の直売所で、地域の人たちに新鮮野菜を届けています。



## 戦後地産地消を進める

宮前区平 小泉 正博さん(90)

昭和19年、徴兵検査で甲種合格し、千葉県習志野の騎兵連隊に入隊しました。入隊後1週間以内に硫黄島へ出陣すると言われましたが、乗船するはずの船が攻撃を受け渡航を断念。1か月ほど初年兵教育を受けることになりました。

その後、座間の航空隊警備や戦車隊員として戦車の整備や防空壕の資材切り出しなどに従事。航空隊と戦車隊に所属していたので、食糧は充実しており、空腹に悩まされることはありませんでした。「赤飯のような食事が出たことがあり、入隊祝いをしてくれたと喜んでいたら、雑穀のコーリヤン飯だと知らされました(笑)」。

戦車整備の技術を学びながら4か月ほど経つと戦争は終結。残務整理のため吉祥寺に移り、20年11月に復員しました。「帰宅できた時は嬉しかったのですが、外地から戻れない人たちが大勢いたので、大声では喜べませんでした」。

戦時中から米や麦、ジャガイモなどを供出していましたが、終戦



後は耕作地の地力や地形などを軸として供出基準が決められました。供出価格は非常に安く、「ヤミ取引者から『高値で買い取る』と話しかけられたこともありました」。

20年代後半からは、平地区でも先駆けとして、トマトやキュウリ、ナス、カボチャなどの野菜栽培を開始。溝口のほか川崎区へ6軒ほどで共同出荷していました。

30年代に入ると、免許と三輪自動車を取得し、自分でも市場へ出荷するようになりました。

40年代には、農地整理を行うとともに地産地消を進めようと地元生協に野菜部会を設立し、市場出荷からの転換をはかりました。

現在では、正博さん、富生さん、博司さんの3世代が農業に励み、全員が各々の考えを実践しながら地産地消の魅力を伝えています。

## 極寒の作業に耐え抜く

多摩区長沢 関口 鐘雪さん(84)

昭和20年4月に県知事命令で、満州国吉林省の神奈川県報国農場に農兵隊として派遣されました。

女学生20人を含む100人が、年間トウモロコシやジャガイモなどを栽培し、収穫した農産物とともに帰国する予定でした。「全員が14、15歳でいきなり異国の地に派遣され、毎日夕方になると家に帰りたくて泣いていました」。

広大な農場では馬を使って耕作し、種まきから草むしりなどの作業に汗を流し、4か月ほど経ったところで突然終戦を迎えました。

すぐに帰国しようとはしましたが、長雨により足止め。途中で民衆の暴徒に遭いながらも何とか耐え抜き、やっとの思いで逃げさせたものの、帰国することはできませんでした。

収容所に集められ、ソ連兵の使役としてコーリヤンなど農産物の荷出しや遺体の運搬、トイレ掃除、シラミの駆除など、生きるためにどんなことでもやりました。「氷点下40度以下になる極寒の地で、と

にかく日本に帰りたい一心で、仲間と励まし合いながらつらい作業に耐え抜きました」。

そんな生活を繰り返して、やっとの思いで21年9月に帰国。その後、昼間は農作業をし、夜は都内の高校で勉強に励みました。「地元の駅に着くのが夜の12時近かったため、帰宅途中で追い剥ぎにあったこともありました」。

20年代後半からは現金収入を得るために酪農を導入。宮城県から妊娠している牛を購入し、少しずつ数を増やしながら40頭ほど飼育するまでになりました。

時代の流れから農業の将来を考え、40年代後半に宅地建物取引主任者資格を取得し、不動産経営をする傍らで農業に従事。現在も農作業に励み、事務所の前で新鮮野菜の直売を続けています。



## 食糧増産の重役を担う

麻生区岡上 宮野 薫さん(85)

相原農蚕学校に通学していた時、途中で軍の将校とすれ違ふと、必ず敬礼をするのが決まりでした。

しばらくは通学できていましたが、昭和19年春から勤労働員により授業は中止。河川改修工事の他、ジャガイモの植え付けや麦の脱穀など、市内各地の農家へ手伝いに通いました。「小学生の頃から農業を手伝っていたので、動員先では重宝がられました」。

各地で様々な作業に励んでいた20年5月25日夜半、西の空より編隊から遅れて現れた1機のB29が岡上地区に焼夷弾を投下。夕立のような音が響き渡り、逃げる兄弟の背中を見ながら慌てて地面に伏



せました。次の瞬間、1分ほど離れた場所に焼夷弾が落ち、体が浮上

ケガはありませんでしたが、「背中に直撃していたら」と考えると、恐ろしさが込み上げてきました」。

その後もしばらくは農家へ手伝いに通っていました。自宅待機をしていた日に終戦を知りました。「勤労働員に苦勞を感じたことはありませんでした。『これからは自宅で両親の手伝いができる』と正直なところホッとしました」。

終戦後も食糧不足は続き、主食の米や麦、イモ類の栽培に励む毎日。供出割り当てを賄いながら、都内から電車で買い求めに来た人たちに販売もしていました。「売上金は貴重な現金収入でした」。

数年後からはトマトやキュウリ、ダイコンなど野菜の栽培も始め、30年頃まで町田の市場に出荷。50年代にかけては、野菜の他に産地として名を馳せていた柿を木箱などに入れ、川崎や新宿、築地、千葉県の船橋などへ共同出荷していました。

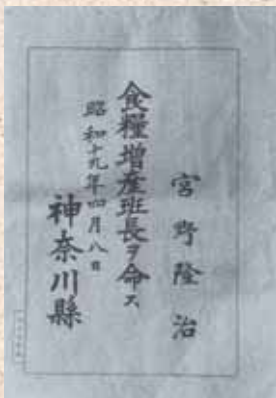
現在では、自家消費程度に米や定番野菜などを栽培するほか、柿や栗、トウモロコシ、ジャガイモをセレスモスに出荷しています。



岡上地区に落ちた焼夷弾の残骸



警視庁勤勞奉仕団(昭和18年・向丘地区) 「川崎市中央農協二十年史」より



食糧増産班長の任命書(昭和19年・岡上) 川崎市多摩農協写真集「わが心のふるさと」より



耕耘機による農作業(昭和28年・井田) 「川崎農協五十年史」より



六郷橋から見た多摩川方面(昭和20年頃) 「川崎信用農協五十年誌」より

## マリアツェル



住 多摩区中野島3-14-6  
 営 9:00 ~ 19:00  
 休 火曜日、第2・4水曜日

創業30年の洋菓子店。かわさきマイスターでもある店主は、地産産の食材にこだわり、卵は高津区宇奈根の新鮮なものを使用しています。その他にも「中野島シュー」など地域名が付いたお菓子も人気を集めているそうです

アーモンド風味で  
 食べやすいですよ！



人気の  
 のらぼう  
 パウンド  
 ケーキ



あさやまさあき  
 店主の浅谷理明さん



今回はJR南武線中野島駅で下車し、線路に沿って街歩きを始めます。  
 電車の音を聞きながら歩き進むと、踏み切りの近くに水路を発見！水路にはザリガニやメダカ、アメンボなど多くの生き物が生息し、子どもたちの遊び場になっていました。  
 水路脇の踏み切りを渡り、「梨畑がたくさんあるな」と感じながら歩いてみると、二ヶ領用水が流れる「中の島橋」に辿り着きました。せせらぎの音で暑さも和らぐ感じがします。橋の先を見渡すと大きなパurlソルが印象的な直売所が！こちらは社会福祉法人による事業所の一つで「障害を持つ人たちが自立し、社会の一員として働く場所だよ」とお店の方に教えていただきました。  
 少しずつ陽も傾いてきたので、駅の方へ歩いて

いると、また直売所を発見♪梨を買い求める人たちで賑わっていました。直売所の方に話を聞くと「この辺りの土地は水はげが良く、水が豊富な土地だから一段と甘くて美味しい」とのこと。直売所の方のご厚意で、多摩川梨を美味しく試食させていただきました♪  
 次に直売所の方に教えてもらった洋菓子屋を目指します。こちらのお店は地域の絆を大事にし、できるだけ地産産の材料を使ったお菓子を提供しているそうです。旬の時期に収穫した区内産の、のらぼう菜パウダーを入れ込んだ「のらぼうパウンドケーキ」を美味しくいただきました。  
 お腹が満たされたところで、今回の散策は終了。住宅地に点在する梨畑などから、中野島の自然と人の温かさを感じられた一日となりました。

## かながわブランド

# 多摩川梨

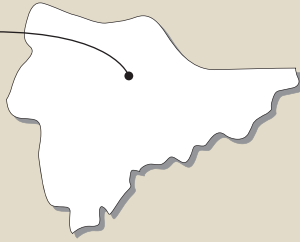
川崎で梨栽培が始まったのは江戸時代初期といわれています。その後、昭和2年に多摩川地区で生産されている梨の名称として「多摩川梨」と統一されました。また、かつてから「梨もぎとり」の人気も高く、現在も事前に連絡すれば、もぎとり体験ができる梨園もあります





# 多摩区 中野島

二ヶ領用水とその支流によって東西、南をぐるりと囲まれた街。大正から昭和にかけて桃や梨の栽培が盛んに行われていた。JR南武線が開通後、急速に人口が増えたことにより都市化が進んでいったが、現在も梨畑が点在している。



## 二ヶ領用水と支流

生き物も生息する水路



住宅地のなかで、のんびりと自然を感じることができます



## はぐるまの会 小さなお店



住 多摩区菅馬場1-19-20  
営 10:00 ~ 17:00  
休 土、日、祝日

社会福祉法人「はぐるまの会」による直売所。宮前区水沢の農園で、毎朝収穫したばかりの野菜を販売しています。月に一度、第2水曜日に感謝祭を行い、買い物客に自家焙煎コーヒーやハーブティーを振る舞っています



梨畑・直売所がいっぱい!!

## 田村果樹園



住 多摩区中野島1-7-10  
営 9:00 ~ 18:00  
休 なし

梨もぎとりは要予約  
梨を主に取り扱っている果樹園。毎年7種類の梨を栽培し、人気を集めています。「梨もぎとり」も受け入れ、リピーターも多く、店頭には梨のほかにも季節の野菜などが並びます

## 中安果樹園



住 多摩区中野島1-1  
営 9:00 ~ 17:00  
休 日曜日

50年以上前から続く直売所。直売所に隣接する果樹園では、梨・柿・デコボンなど年間を通して様々な種類の果物を栽培しています



## 市内農業の維持・発展への支援を要望

J Aと市農業委員会は9月2日、福田紀彦市長に平成28年度の農業施策と予算要望書を提出、特段の措置を講ずるようによに要請しました。

要請を行ったのは、柴原組合長、立川副組合長、市農業委員会の長瀬和徳会長、森修二同職務代理者ら。今般成立した「都市農業振興基本法」を踏まえた基本計画の策定、「農業者の所得増大」とあわせ、更なる「地産地消」への支援強化について要望しました。

市長は都市農業が担っている役割の重要性、市民の地場産農畜産物への高い関心を受け、要望の実現に向けた理解、協力を示していました。



福田市長に要望書を手渡す柴原組合長、長瀬会長ら

## 地場産農産物ジェラート販売スタート

宮前区平の小泉博司さんが経営する、地場産農産物を使った移動式ジェラート販売店「農園そだちのアイス屋さん」が8月17日、セレスモス麻生店での出店を皮切りにオープンしました。

小泉さんは、祖父、父と3世代で定番野菜の他、パジルやスイカなどを栽培。平成15年に施設イチゴの栽培を始めた当初から「地場産農産物を使ったジェラートに挑戦したい」と、模索していました。

ジェラートに使用する農産物は、小泉農園でとれる旬なものが中心。自宅の敷地内には加工施設を新設し、シェフと相談しながら改良を重ね、農産物の風味を生かしたジェラートに仕上げています。また、「いろいろ



ジェラートを手渡す小泉さん



「甘くて美味しい」と大好評

な場所で販売できれば」との思いからジェラートカーを導入。お客さんからは「素材本来の味を楽しめる」と好評を得ています。

小泉さんは「ジェラート車を有効活用して、川崎の農産物をアピールしていきたい」と、意気込んでいます。

セレスモス麻生店での販売は、木、土、日曜日。カップ、コーンともに300円から。

## 後継者と職員が親睦深める



交流とあわせ税務の知識も深めた

「宮前平支店葉月の会」の会員と支店職員との交流会が8月21日、同支店で開かれ、会員21人と職員16人が親睦を深めました。

同会は、土橋地区の後継者が、横のつながりと職員との交流を深めようと平成16年に立ち上げたもの。その後、小台地区にも輪を広げ、

支店全体の活性化に繋げる組織に形を変えてきました。

当日は、相続税と贈与税に関する研修会後に交流会を開催。和気あいあいと楽しいひとときを過ごしました。

柴原武司会長は「今後も会員を増やしながら、楽しく交流を深めていきたい」と、笑顔を見せていました。

## 総代・組織リーダー研修会 日本が抱える問題点を学ぶ

平成27年度第1回総代・組織リーダー研修会が8月17日、本店で開かれました。研修会には総代や各組織リーダー、JA役職員ら425人が出席し、日本経済が再び活力を取り戻すための方策や、これからの日本の方向性などについて知識を深めました。

研修会では、TBSテレビ報道局で解説・専門記者室長を務める杉尾秀哉氏が「報道の現場から、これからの日本を考える」と題した講演を行いました。杉尾氏は、日本の

政権運営の問題点などを挙げ、現在、日本の政治・経済は楽観視できない状況にあると主張。また、人口減少や少子高齢化問題など、現在日本が抱える社会問題に国民が真摯に向き合う必要性があると示唆しました。

最後に「常に時代の先を見て変化を起こすことが大切。何事にも勇気と自信を持ち、初めの一步を踏み出してください」とエールを送り、参加者からは盛大な拍手が送られました。



講演を行う杉尾氏



講演を聴く参加者

## 防犯活動に貢献 大師支店に感謝状贈呈

JAでは、本店や各店舗に防犯カメラを設置するなど、防犯体制の強化をはかっています。

そのような中、大師支店では8月28日、地域の防犯活動を積極的に行っていることで川崎臨港警察署長より感謝状が贈られました。

坂本支店長は「今後もお客様が安心して利用できる店舗を目指していきたい」と、話していました。



感謝状を受ける坂本支店長

## 女性部 川崎南支部 JA商品の知識深める

女性部川崎南支部では8月24日、みなみ支店でJA生活購買品などの説明会を行いました。

参加した女性部員は23人。大地のレシピ掲載商品を使って適切な歯のケア方法のほか、補聴器の選び方などについても知識を深めました。

その後、エークック調理器具を使って調理を実演。部員も実際に調理や試食を楽しみ、焼きそばや野菜スープ、野菜スムージーなど計7品のお手軽レシピを学びました。



調理の実演を見学する女性部員

終了後は販売会も行われ「早速レシピを試してみたい」と、調理器具などを買い求めていました。

## 季節の野菜 で食農教育 こども農業体験

川崎南・日吉地区合同のこども農業体験が8月11日、宮前区野川の森雄誠さんの畑で行われ、12家族28人が野菜の収穫とバーベキューなどを楽しみました。

畑に集まったこどもたちは、野菜の特徴や収穫についての説明を受けてから、収穫体験を開始。ナスやピーマン、ミニトマトなどを袋いっぱい収穫しました。慣れない作業にとまどいながらも「こっちに大きいナスがある」「真っ赤なトマトがとれた」と、夢中になっていました。

昼食のバーベキューでは、自分たちで収穫したとれたて野菜の味を堪能しました。午後からは、ヒマワリやケイトウなどを収穫して花束作りと、野菜の寄せ植えを体験しました。このほか、カブトムシのサプライズプレゼントもあり、楽しい農業体験となりました。



ピーマンの収穫に挑戦

## ジャガイモの植え付けに挑戦

宮前区にある市立平小学校の4年生82人が8月27日、同区神木の畑でジャガイモの植え付けに挑戦しました。

当日は、地元の生産者・小川耕平さんが植え付けを指導。「半分にしたジャガイモの切り口を下にして、上からイモが見えなくなるまで土をかけて」とアドバイスを受け、作業を開始。1人2個ずつ種イモを受け取り、お互いに土のかけ具合などを確認しながら植え付けを楽しみました。

作業後には「ジャガイモに種はあるの」などの質問が出され、小川さんが1問ずつ丁寧に答えました。

児童は「収穫できたら自分でみそ汁を作って食べたい」と、笑顔を見せていました。

今後は、草取りや追肥などの作業を行い、12月上旬に収穫し、調理実習や自校献立給食で食べる予定になっています。



ジャガイモの植え付けを楽しむ児童

## 職員が相続対策など学ぶ



講師の話に聞き入る職員

職員税務研修会が8月7日、本店で開かれ、支店長や渉外担当者ら約100人が相続対策についての知識を深めました。

同研修会は、正しい知識を身につけ、組合員や利用者からの税務相談に適切に応えられる職員を育てようと開かれたものです。

J Aまちづくり情報センター顧問の柴原一税理士が講師を担当。職員は、相続開始後の流れなどを確認したほか、生前贈与による節税対策や遺産分割などをめぐる争いが遺族間で起きる『争族』対策として、遺言書を作成する必要性などについて理解を深めました。

## 高津地区 稲田地区 旬の農産物で親子が料理

夏休み期間の8月4日に高津地区、11日には稲田地区で女性部員の協力のもと親子料理教室が行われました。

高津地区には、てくのかわさきで16組45人の親子が参加。区内産のジャガイモを使ったポテトサラダやコーンスープ、鶏の唐揚げに挑戦。女性部員の指導を受けながら、トムロコシを細かく切ったり、卵の殻むきなど親子で協力しながら、和気あいあいと作業を進めました。

稲田地区では、多摩市民館

で8組21人の親子が参加。地場産野菜を使った夏野菜ごろごろスープカレーとレタスと豚しゃぶのサラダなど計3品を作りました。子どもたちは慣れない手つきながらも真剣に調理に取り組んでいました。試食会では「野菜が甘くて美味しかった」と笑顔で話し、地場産野菜の味を堪能しました。

保護者からは「普段忙しくて子どもと一緒に料理ができないので良い体験になった」と大好評でした。



コーンスープ作りを楽しむ親子(高津地区)



豚しゃぶのサラダを作る親子(稲田地区)

## 厳かに花の霊を供養

花卉部馬絹支部では8月17日、宮前区馬絹の泉福寺で、花供養祭を行いました。

供養祭は、今回で97回目を迎え、長い歴史を誇っています。

参列者は、花の霊を慰めるために順番に焼香を行い、祈りと感謝の気持ちを捧げました。その後、全員で花の供養塔に焼香をし、供養祭を締めくくりました。



花の霊に祈りを捧げる佐々木祥教支部長

## 施設事業で特別優秀賞を受賞

平成26年度J Aグループ施設事業優績組合表彰式が8月6日、横浜市の神奈川県民ホールで行われました。当J Aとセレサ不動産(株)は、供給実績や受注契約高などで高い評価を受け、特別優秀賞を受賞しました。

このほか、受賞した各支店は次の通りです。



表彰を受ける柴原組合長

「目標達成優秀賞」  
高津・日吉・稲田・  
宿河原・菅・栗平  
支店

「目標達成奨励賞」  
橘・宮前・上作延・  
御幸・住吉・小杉・  
柿生・新百合丘支店  
「情報収集奨励賞」  
中原・稲田・柿生  
・東柿生支店



## グラウンドゴルフ に惹かれて

# 逸

ITSU

私の好きなこと

グラウンドゴルフに出会ったのは、10年前のこと。近所の人から誘われたことがきっかけでした。学生時代に野球を経験していたこともあり、もともと球技は得意。初めてグラウンドゴルフを体験した時に、自分が打ったボールが思い描いた通りに進んで行き、ホールポストに入った時の嬉しさが忘れられず、すぐにグラウンドゴルフに打ち込むようになりました。毎週のように試合形式の練習に励む中、特に意識していることは、グラウンドのコンディション。前日の天候などによってコースの状



況が左右されるので、「ホールポストに入れることだけに集中し、コースを読みながら力加減を調整して打つことを常に心掛けています」。練習の成果が実り、区の大会ではチームで優勝を果たすほか、個人戦では3位に入賞。日々の練習の成果を実感するとともに、大きなやりがいを感じています。現在、所属しているチームで週1回、毎年行われる大会に向けて、練習を重ねています。「チームや大会には私より若い人が多いですが、まだまだ負けてはいられない」と、今日も練習に励んでいます。

### PROFILE

昭和11年生まれ。自動車の部品メーカーに勤めた後、兄が経営する運送会社へ転職。グラウンドゴルフの他にも、野球観戦を楽しんでいます。



幸区南加瀬  
池上五郎 さん



■ ひゅうまん

## 研究から不動産事業へ

幸区古市場 中塚 繁さん

農業の傍ら不動産経営をしていた父が、毎年借主との賃料交渉に苦勞している姿を見て、「いずれは資格を取り、少しでも父の手助けをしたい」と、考えていました。

県の公衆衛生技術系職員として陽チフスなどの研究に励みながら、夜は専門学校に通い、宅地建物取引主任者の資格を取得。「研究と勉強を両立させるのに苦勞しました」。

職員として勤務する一方、家では宅建の知識を活かし、父の手続きを手伝うようになりました。少しずつ不動産経営に関する手続きにも慣れてきた矢先、父が他界。「父が大切に続けてきた、不動産経営に専念しよう」と県の職員を辞め、平成2年に不動産会社を立ち上げました。

父は賃料などの交渉を毎年暮れに行っていました。「誰でも忙しい時には心にゆとりがなくなるので、ゆつくり落ち着ける時に話を進めよう」と、夏の時期に変更。「ボーナスが入ってから支払ってもらえれば大丈夫」など、借主の立場に立って話し合うことで信頼を集めていきました。



地域の人たちや同業者とのつながりを深めながら事業を進めていく中、JAから新店舗用地を探している」と相談を受けました。地域の中で、営業店舗として少しでも条件の良い場所を選定し、所有者との話し合いに通いました。何度も足を運び交渉には苦勞しましたが、平成16年に小向支店が開店。組合員として地元支店の開店に貢献できたことは大きな喜びになりました。

「これからも仕事を通じて地域の人たちに少しでも貢献し、信頼されるように励んでいきたい」。



8年前、兄から「やってみるか」と誘われたことを機に就農しました。子どもの頃から花き栽培を行っている父の姿を見てきましたが、実際には農業の知識や経験はほとんどゼロ。父と兄に一から教わり、ひとつひとつ確実に基礎を固めてきました。

父・美裕さんと兄・裕崇さんはこれまでに、毎年行われる品評会や立毛共進会において、市長賞や組合長賞などの受賞を経験。切磋琢磨して技

## 『父と兄を目指して 技術を磨く』

宮前区馬絹 田辺 智崇さん

術を磨き、馬絹地区の花き栽培を盛り上げてきました。「跡は兄が継ぐのだから」。就農当初はそんな気持ちで手伝う程度でした。しかし、ともに作業を行っている中で、父たちの花き栽培にかける情熱に心を惹かれ

か、梅、花桃、桜といった枝物を栽培。「多様化する市場のニーズに応えたい」と、年間通して約150品種を揃えるため、県外にもほ場を確保し、北部市場や世田谷市場などへ出荷しています。また「季節の花をよ

「毎日の作業の積み重ねの中で技術を磨き、時間をかけて少しずつでも父や兄に近づきたい」。歴史ある馬絹地区の花き生産者に名を連ねる父や兄の背中を必死に追いかけたいです。

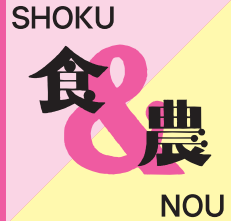
「自分も技術を身に付け、伝統ある馬絹の花き生産者の一人として力になりたい」と、思うようになりました。約200坪の畑で、ケイトウや小菊、カンパニユラなどの切り花のほ

り多くのお客さんに楽しんでもらいたい」との思いから庭先での直売やセレサモスにも出荷しています。年間のスケジュールや栽培管理は、今は兄が中心となって親子3人で行っています。自然相手なので思うようにならない難しさを痛感しながらも花の表情から何を欲しているのかを感じ取るうと、日々努力を重ねています。

仕事柄なかなか休みがとれず、花き栽培に忙しい毎日。1日の作業を終えたあとは、趣味の読書や映画鑑賞をして気分をリフレッシュしています。「外での作業が多いので日焼けしていますが、基本的にはインドア派です(笑)」



# ツルムラサキ



ツルムラサキはツルムラサキ科ツルムラサキ属の野菜で、東南アジアの熱帯地域が原産です。葉は肉厚で、蔓先から15cmほどを収穫し、葉と茎を食用にします。日本には江戸時代に観賞用として伝わり、1970年代から食用として普及しました。特有の香りがあり、加熱するとぬめりが出るのが特徴です。保存の際は、軽く湿らせた新聞紙に包んでからポリ袋に入れて冷蔵庫で保管し、2~3日を目安に使い切りましょう。

ツルムラサキには茎が赤紫色の「赤茎種」と、茎と葉が緑色の「青茎種」があり、市場に流通しているものは「青茎種」が主流です。

ツルムラサキに豊富に含まれるベータカロテンには抗酸化作用があり、免疫力アップやアンチエイジング、がん予防などに効果があると言われています。その他にも、ビタミンK、胃腸の粘膜を保護したり細胞を活性化する作用があると言われています。ムチンも含まれています。特に骨の健康維持をサポートするカルシウムは、ホウレンソウの約3倍もの量を含んでいます。

加熱しすぎると臭みが出て、菌ごたえも悪くなるので、さつと茹でる程度にしましょう。茎が太いので、茹でる際は、葉と茎を別々に茹でてください。花のついた先端部分は天ぷら、お浸し、和えもの、刺身のツマとして活用できます。また、油との相性も良いので、炒め物、揚げ物にしても独特の風味を楽しむことができます。

購入の際は、葉が肉厚でツヤがあり、茎と葉がやわらかくて切り口がみずみずしいものを選びましょう。葉が枯れているものや変色しているものは避けてください。

## ツルムラサキのパペロンチーノ風

材料(2人分)

- ・ツルムラサキ…160g
- ・ベーコン…3枚
- ・鷹の爪…1/2本
- ・オリーブオイル…大きじ2
- ・ニンニク…1片
- ・塩・コショウ…少々

作り方

- 1.ベーコンを3cm幅に切る。ツルムラサキは一口大に切り、茎と葉の部分を分けておく。
- 2.フライパンにオリーブオイルとニンニク、鷹の爪を入れて中火で熱する。
- 3.香りが立ったら、2に1の茎の部分を入れて炒め、茎に火が通ったらベーコンと葉の部分を加え、1分ほど炒める。塩・コショウで味を調えてできあがり。



## 農薬のローテーション散布

### はじめに耐性菌・抵抗性害虫の話

農業生産では、病気や害虫の被害が大きな問題となります。栽培に当たっては、まず病虫害が発生しにくい環境づくりや被害を受けにくい品種の利用などの対策をしますが、農薬に頼らざるを得ない場面も多くあります。

農薬は、同じ薬剤や同じグループの薬剤を繰り返し使用していると効果が低くなり、さらには全く効かなくなる現象がしばしば起きます。これは病原菌や害虫の中で薬剤の作用を受けつけない菌や虫が生き残って殖(ふ)える結果で、この性質をもった病原菌は「薬剤耐性菌」、害虫は「薬剤抵抗性害虫」と言います。人の医薬品でも「耐性菌」という言葉をニュースなどで耳にしますが、これと同じ現象です。

これまでに殺菌剤耐性菌が出ている代表的な事例としては、野菜や果樹のうどんこ病、灰色かび病、べと病、梨では黒星病、黒斑病などがあり、他にも多くの作物の病気で耐性菌が見つかっています。

殺虫剤抵抗性害虫は、ハダニ、アブラムシ、コナジラミ、アザミウマなどで事例が多く、寿命が短くて、年間発生回数の多い害虫で抵抗性が発達しやすい傾向です。

以前おなじみだった農薬で、近年使われなくなったものの中には薬剤耐性や抵抗性によって実用的な効果が無くなったものも含まれています。

### ローテーション散布

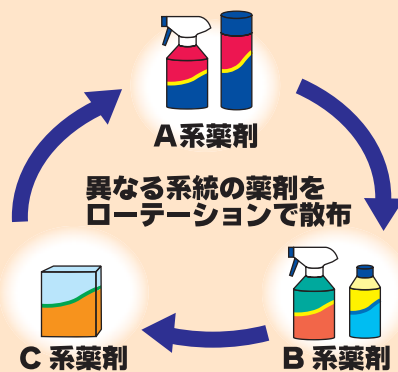
薬剤耐性や抵抗性の発達を遅らせ、効果を維持するためには、農薬以外の各種対策をした上で、異なった薬剤や違う系統の薬剤を順番に使います。これをローテーション散布と言い、同じ作用の農薬が続かないようにすることで耐性や抵抗性を出さないために重要なことです。

果樹の防除暦や栽培資料では現実的な範囲で、これを考えた内容が示されています。生産者の立場では、たくさんの種類の農薬を用意するのは大変ですが、少数の農薬だけを繰り返し使用することは避けなければなりません。これは野菜などでも同じことが言えます。

特に殺ダニ剤は相次いで抵抗性ハダニが発生し、新農薬の開発が追いつかない事態が過去には見られましたし、今後も心配されます。抵抗性の心配が少ないでんぶん成分や機械油乳剤など物理的防除薬剤なども組み合わせたローテーション散布が重要です。

殺菌剤でも古くはベンレート、その他多くの薬剤で耐性菌が問題となりました。近年の新薬剤の中では、耐性菌の発生が危惧される薬剤として、アフェットなどのSDHI剤やアミスターなどQoI剤のグループがあげられています。野菜ではそれぞれ、単剤は1作で1回、他の成分との混用や混合剤を含めて2回まで、梨などでは単剤、混合剤合わせて年間2回の使用に止めるよう推奨されています。指導機関の技術資料にも紹介されていますのでご注意ください。

※JAでは、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病虫害被害の場合は、被害作物もご持参くださると助かります。開催日は22ページをご参照ください。



「健康診断で、中性脂肪が高かった」「更年期になったとたん、コレステロールが増えてしまった」…このように、血中脂質に関する悩みを持つ人は多いのではないのでしょうか。そこで今回は、血中脂質検査についてお話しします。

## 血中脂質検査とは？

健診で行う血中脂質検査項目には、血液中の「総コレステロール」「HDLコレステロール」「LDLコレステロール」「中性脂肪」の4つがあります。後者3つのうち1つ以上が病的範囲にあるものを、脂質異常症といいます。脂質異常症は、動脈硬化や狭心症などの危険因子です。そのため、血中脂質検査を受けて、健康の自己管理に役立てることが大切です。

## 血中脂質検査の計算式

「健診で総コレステロールの値が高く出て病院で再検査を受けたら、総コレステロール以外の3つしか検査をしてくれなかった」。このような経験を持つ人もいることでしょう。近年では、コレステロールのうちいわゆる悪玉コレステロールと呼ばれるLDLコレステロール値の改善が重視されているため、総コレステロール検査は省略されることがあります。また、健康保険の保険点数の算定では、「総コレステロール」「HDLコレステロール」「LDLコレステロール」のうち2つまでしか保険適用できないという実情もあります。どうしても総コレステロール値の変化が気になるという方は、以下の計算式で求めることができます。

**総コレステロール = HDLコレステロール + LDLコレステロール + (中性脂肪 ÷ 5)**

例：病院の検査で、HDLコレステロール40mg/dl、LDLコレステロール150mg/dl、中性脂肪160mg/dlの人

総コレステロール = 40 + 150 + (160 ÷ 5) = 222mg/dl となり高めであることがわかります。  
(参考…JA健診での基準値は、140～199mg/dlです)

血中脂質検査は、いわゆる生活習慣病の検査。高めであることを指摘されたら、食生活や運動習慣を見直し、できることから改善しましょう。また、3か月に1度を目安に病院で再検査を受け、改善の成果を確かめましょう。



(保健師：運天 智子)

## 10月の運勢

モナ・カサンドラ

### おひつじ座 3/21～4/19

【全体運】気分の浮き沈みが激しくなる月。周囲に八つ当たりせず、一人の時間を大切に。趣味や好きなことに励んで【健康運】適度な休憩が吉。無理はNG【幸運を呼ぶ食べ物】ナメコ

### おうし座 4/20～5/20

【全体運】心理的に不安定になりそう。クヨクヨせず、ポジティブに考えて。ガーデニングなど植物に触れると◎【健康運】気軽にスポーツを楽しむ好機【幸運を呼ぶ食べ物】サトイモ

### ふたご座 5/21～6/21

【全体運】前向きな気持ちになり、何事にも積極的に取り組めそう。レジャーは賑やかなスポットほど◎【健康運】小さなケガにご用心。慎重に行動して【幸運を呼ぶ食べ物】サンマ

### かに座 6/22～7/22

【全体運】感情的になりやすい月。自身のイライラに気付いたら深呼吸でリラックスを。部屋を片付けると◎【健康運】話題の健康法に注目。有益な情報あり【幸運を呼ぶ食べ物】ユズ

### しし座 7/23～8/22

【全体運】知的好奇心が旺盛に。やってみたいことがあるれば、体験教室を試して。発想力アップには読書が◎【健康運】食べ過ぎやすい期間。適度な運動を【幸運を呼ぶ食べ物】トウガン

### おとめ座 8/23～9/22

【全体運】プライベートを充実させると◎。やるべき作業を早めに済ませ、自分の時間を楽しんで。グルメも吉【健康運】デトックスに効果が。体質改善に有効【幸運を呼ぶ食べ物】小豆

### てんびん座 9/23～10/23

【全体運】長所をアピールできる月。温めていたプランがあるなら実行に移して。周囲の協力も期待できそう【健康運】栄養バランスが偏りがち。意識してみて【幸運を呼ぶ食べ物】ごま

### さそり座 10/24～11/22

【全体運】縁の下の力持ち的役割でも快く果たせば、好転の呼び水に。サービス精神を発揮して。気晴らしにはカラオケへ【健康運】血行促進をはかると◎【幸運を呼ぶ食べ物】リンゴ

### いて座 11/23～12/21

【全体運】向学心を刺激される期間。特殊技能の習得など何にでも果敢に挑戦を。習い事を始めるのも賛成【健康運】ゆったり過ごして。睡眠の質向上も大事【幸運を呼ぶ食べ物】サケ

### やぎ座 12/22～1/19

【全体運】頑固になり、孤立しやすい気配。人の意見やアドバイスに柔軟に耳を傾けて。開運には森林公園散策が吉【健康運】ウォーキングなど軽い運動が◎【幸運を呼ぶ食べ物】マイタケ

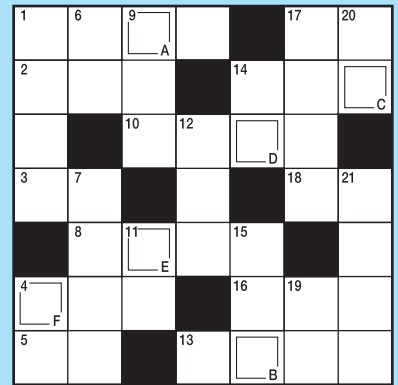
### みずがめ座 1/20～2/18

【全体運】アクティブに動き回りたい月。未知のジャンルでも思い切って飛び込むと◎。インターネットも吉【健康運】運動不足になりがち。小まめに動こう【幸運を呼ぶ食べ物】シメジ

### うお座 2/19～3/20

【全体運】物事が中途半端になりそう。手を広げ過ぎず、一つに集中して。気力回復にはヒーリング音楽を【健康運】疲れをため込みやすいかも。無理は×【幸運を呼ぶ食べ物】カボチャ

## クロスワードパズル



### タテのかぎ

- ①親密な交友のことを水魚の\_\_\_\_\_といひます
- ④朝と夜の間
- ⑥紙をくるりと丸めると作れます
- ⑦goの\_\_\_\_\_はwentです
- ⑨物をゴシゴシ洗うのに適した道具
- ⑩贈り物に付けます
- ⑫結婚式で新郎と新婦が交換すること
- ⑭損の反対語
- ⑮佐渡島では舟にして観光客を乗せます
- ⑰袋に「おてもと」と書かれていることも
- ⑲水面に糸を垂れて楽しめます
- ⑳祝い事に付きものの魚
- ㉑桜島、守口、練馬といえ

### ヨコのかぎ

- ①香りの良い高級きのこ
- ②本当にあった話
- ③化学や物理などを学ぶ教科
- ④江戸の町の消防組織
- ⑤野球のグラウンドに四つあります
- ⑧ナマコの腸の塩辛
- ⑩東海道では日本橋と三条大橋の間に53か所
- ⑬競馬で買うのは馬券、\_\_\_\_\_で買うのは車券
- ⑭参道の入り口に立っています
- ⑯おなかの上で貝を割る動物
- ⑰ぬいぐるみに詰める物
- ⑱ワラビもゼンマイもこの仲間

### 7月号のこたえ

#### ネットタイヤ

応募総数 51通

当選者5人の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。\*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。



### ◇緑のカーテン◇

窓の日よけに今年からゴーヤを育てています。ゴーヤの赤やんを見つけると嬉しいですよ。

(多摩区・小島さん)

### ◇動物も夏バテ!?◇

川崎探検隊に載っていた夢見ヶ崎動物公園の動物たちが熱中症にならないか心配です。

(高津区・伊藤さん)

### ◇気になりました◇

自家製野菜を使った料理が食べられるカフェ「サリ」に行ってみたいと思いました。

(高津区・中田さん)

### ◇可愛い双子トマト◇

宮前区の篠田勝夫さんの畑で双子のトマトがとれました。



### ◇大きくなりました◇

家で育てているミニトマトの木が私の身長を越えました。約180cmはあると思います。

(高津区・菅谷さん)

### ◇作りました◇

Dish Upのスパイス香るスープカレーを作りました。とても美味しくできて、家族も喜んで食べていました。レシピは毎号切り取り、保存しています。

(中原区・黒瀬さん)

### ◇夏にピッタリでした◇

気になっていたクウシンサイをサラダとグリーンスムージーで食べました。クセがなく美味しかったです。

(川崎区・ベースけ)

### ◇勉強になりました◇

熱中症対策の記事を読んで、目的や状態に応じてスポーツドリンクと経口補水液を使い分けすることを初めて知りました。

(麻生区・長野さん)

### ◇気持ち良いですよ◇

毎日暑いので、保冷剤を手拭いで巻いて首に当てています。

(高津区・今村さん)

### ◇行ってみます◇

「まるい食遊館」に地場産の野菜があることを初めて知りました。近くなので、行ってみたいです。

(中原区・大沼さん)

### ◇今年暑いので◇

今年例年より暑さが厳しいので、夏野菜をしっかり食べて乗り切ろうと思っています。

(川崎区・南さん)

### ◇投稿のお礼◇

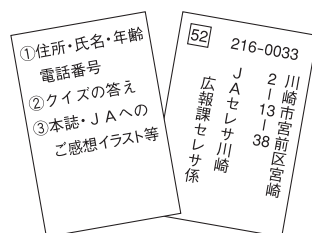
たくさんのお便りありがとうございました。これからも感想お待ちしております。

(JA広報課)

## 応募方法

■このコーナーでは身近なできごと等、皆さまからお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクイズにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に図書カード1,000円分をプレゼントします。送付方法は郵送で、住所、氏名(匿名の方はペンネームを添えて)、年齢、電話番号を記入し、右記まで送付してください。写真の掲載を希望される方は、プリントを封書でご送付ください。\*匿名を希望される場合は必ずペンネームをお書き添えください。個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 10月16日(金)必着



お寄せ頂いた感想、イラスト等は本誌に掲載することがあります。

晴れの入賞者

敬称略( )内住所

平成27年度川崎市ナス立毛共進会  
7月28日 市内巡回 出品点数13点  
▽特選=とげなし・千両2号・森邦義(久末)  
平成27年度川崎市ナシ立毛共進会  
7月29日 市内巡回 出品点数43点  
▽特選=幸水・川名徹(野川)、混植・北見純一(枳形)、幸水・豊水・あきづき・持田篤史(有馬)、幸水・小林明正(堰)  
平成27年度川崎市ブドウ立毛共進会  
7月31日 市内巡回 出品点数7点  
▽特選=巨峰・藤稔・ブラックビート・白井正壽(菅稲田堤)  
平成27年度川崎市梨・ぶどう品評会  
【前期の部】8月18日 本店アトリウム  
出品点数 梨88点 ぶどう13点  
▽優秀賞=幸水・白井正壽(菅稲田堤)、藤稔・小林明正(堰)、幸水・浅谷和男(中野島)  
【後期の部】8月28日 川崎市農業技術支援センター  
出品点数 梨101点 ぶどう11点  
▽優秀賞=豊水・戸張ひろみ(北見方)、あきづき・白井正壽(菅稲田堤)、豊水・黒川勝美(北見方)

振り込め詐欺未然防止で感謝状

振り込め詐欺による被害を未然に防いだことで8月19日、柿生支店の松浦圭祐職員と鈴木彩加職員に、麻生警察署長より感謝状が贈られました。JAでは、今後も詐欺被害の未然防止に努めてまいります。

セレサ野球部新城リーグで初優勝

市内各グラウンドで行われた新城野球連盟の第95回毎日新聞社杯争奪大会において、JAセレサ川崎野球部がみごと初優勝を果たしました。同野球部は、11月3日に開かれる毎日杯全川崎選抜野球大会に向けて「部員一丸となって優勝を目指す」と、意気込んでいます。

販売促進担当が就任

9月1日付けで採用された西山淳一販売促進担当を紹介します。西山販売促進担当は、これまで市場での仲卸に携わっていた経験を活かし、セレスモスの販売促進に取り組んでまいります。



第2回人形供養祭を開催します

【日程】10月17日(土) 10:00~16:00 人形受付  
10月18日(日) 10:00~13:30 人形受付  
14:00~14:30 供養祭(仏式)  
【場所】JAセレサ梶ヶ谷ビル 高津区梶ヶ谷2-1-7  
【供養料】1体100円。付属品は来場者1組で500円。  
【連絡先】JAセレサ葬祭センター TEL0120-3096-56

組織  
だより

万福寺支部(柿生地区)

麻生区万福寺1~6丁目が支部の範囲。昭和30年代後半頃までは、地域の伝統野菜「万福寺人参」などの野菜のほか、米作りが盛んに行われていました。その後宅地化が進み、かつて見られた田畑は次第に減少しましたが、一部ではトマトやキュウリなどの露地野菜の栽培が行われています。

組合員戸数は18戸。才澤利雄支部長は、年1



回開催しているゴルフ大会や食事会を通じて支部の交流と活性化をはかっています。

※次回は三ツ又支部(宮前地区)と南野川支部(宮前地区)です。

溝口支部(高津地区)

高津区溝口2~6丁目が支部の範囲。東急田園都市線、JR南武線、国道246号線が域内を走り、交通の利便性がよい地域です。かつては野菜や桃、米作りが盛んに行われていました。昭和初期の鉄道の開通以降、開発が進み、町並みは大きく様変わりしましたが、一部では梨や柿、野菜の栽培が行われ、直売所で販売するほか、セレスモスへ出荷しています。



組合員戸数は35戸。鈴木勝夫支部長は、毎年の食事会で部員の親睦を深めています。

JAからのお知らせ

◇理事会だより◇

☆第5回定例理事会…8月18日(火)本店で開催【報告事項】セレスアモス宮前店の開店日ならびに修祓式・竣工披露式開催について…式典：10月23日(金)10時～、開店日：10月27日(火)10時～。平成27年度セレスアモス宮前店一泊旅行の実施について…旅行名：世界遺産「富岡製糸場」と「花燃ゆ」ドラマ館見学、紅葉の猿ヶ京温泉2日間、募集人数：480人、日程：第1班・11月4日(水)～5日(木)、該当地区・中原、日吉、稲田、菅、生田、柿生。第2班・11月5日(木)～6日(金)、該当地区・橘、宮前、高津、向丘、川崎南。募集期間：9月24日(木)～10月7日(水)但し、定員になり次第締め切り。第17回女性部連絡協議会レクリエーション大会の開催について…10月28日(水)10時～、女性部員を対象にとどろきアリーナメインホールにて開催。他20項目を報告。【協議事項】組合員後継者イベント開催について…組織基盤の拡充・強化に向けた組合員後継者対策の一環として、『東京ディズニーランド』会場で5公演のイベントを開催。他6項目を協議決定。

◇組合員のみなさまへ◇

組合員資格に変更のある場合は、当JAまでお申し出ください。

セレスアのDATA

貯金	1兆3,699億円
貸出金	5,483億円
長期共済保有高	1兆6,366億円
年金共済保有高	330億円
購買品供給高	4億28百万円
販売品取扱高	3億97百万円
施設事業契約高	48億05百万円
組合員数	62,787人
うち正組合員	5,762人
准組合員	57,025人
	(8月31日現在)

営業時間のご案内

☆支店窓口…平日9:00～15:00  
 ☆ATM…平日8:00～21:00、土日祝9:00～19:00、(セレスアモスは、営業時間内の稼働)  
 ☆経済センター店舗…平日・土日9:00～16:30(月末12:00)※祝日は休み  
 ☆セレスアパーシモン…平日・土日9:00～16:30(月末15:00)※祝日は休み  
 ☆セレスアモス…4月～10月10:00～18:00(定休日：水曜・年末年始ほか)※節電対策により、営業時間が一部変更になっております。

10月の営農相談コーナー

☆JA経済センター(宮前区有馬2-13-1)…2日(金)、7日(水)、14日(水)、16日(金)、21日(水)、28日(水)  
 ☆セレスアパーシモン(資材店舗：麻生区片平2-30-15)…6日(火)、8日(木)、13日(火)、20日(火)、22日(木)、27日(火)  
 時間：9:00～16:00  
 相談員：JAの営農技術顧問  
 その他：予約は不要です。

10月の経営相談日(法律)

6日(火) 9:30～11:30 宮前支店  
 13:30～15:30 中原支店  
 13日(火) 13:30～15:30 みなみ支店  
 13:30～15:30 生田支店  
 20日(火) 13:30～15:30 中原支店  
 24日(土) 9:30～11:30 梶ヶ谷ビル  
 27日(火) 13:30～15:30 稲田支店  
 相談時間は原則30分程度。要予約。予約は相談日の前営業日16:00までに各会場支店の総合相談担当・梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで。予約のない方は、予約者の相談終了後となります。

10月の年金無料相談会

1日(木)新百合丘支店  
 4日(日)大師支店  
 8日(木)生田支店  
 13日(火)東柿生支店  
 15日(木)小向支店  
 20日(火)柿生支店  
 22日(木)千代ヶ丘支店  
 25日(日)みなみ支店  
 27日(火)鷺沼支店  
 29日(木)子母口支店  
 予約は開催支店まで。  
 ◇年金・社会保険セミナー  
 18日(日)10:00～12:00 小杉支店  
 14:00～16:00 中原支店  
 参加ご希望の方は金融推進部(TEL877-2140)までご連絡ください。(予約優先)※定員になり次第締め切らせていただきます。

10月の休日住宅ローン相談会

4日(日)小杉、北見方、生田  
 24日(土)みなみ、小田、御幸、小向、中原、新城、元住吉、北見方、橘、久地駅前、子母口、鷺沼、宮崎、向丘、菅生、菅、柿生、百合丘、栗平  
 25日(日)大師、大島、日吉、鹿島田、小杉、住吉、高津、宿河原、野川、梶ヶ谷、宮前、宮前平、上作延、長沢、稲田、生田、千代ヶ丘、東柿生、新百合丘  
 各会場支店または下記ホームページからご予約のうえ、ご来場ください。予約がない方はお待ちいただく場合がございます。時間は9:00～15:00

10月のセレスアサロン

8日(木)中原支店  
 14日(水)高津支店  
 21日(水)生田支店  
 会費：4,000円(中原支店)  
 3,500円(高津、生田支店)  
 対象：おおむね60歳以上の方  
 ご参加の方は事前にご連絡をお願いします。お問い合わせ・お申し込みは本店生活福祉課まで。TEL877-2509

セレスアサービスのご案内

セレスアサービス(株)はまごころを込めたご葬儀をご提案し、ご奉仕でお応えしています。当社は川崎市内で唯一のJAが100%出資している葬祭センターです。  
 危急のご連絡・ご相談は下記のフリーダイヤルまで。  
 フリーダイヤル みおくる ところ  
**0120-3096-56**  
 (24時間受付・年中無休)  
<http://www.ceres-a-service.co.jp/>

10月の遺言信託個別相談会

15日(木)柿生支店  
 16日(金)菅支店  
 22日(木)橘支店、生田支店  
 27日(日)向丘支店  
 ・開催時間…9:00～16:00  
 ・相談員はJA神奈川県信連の財務コンサルタント  
 ・相談時間は原則1時間半まで  
 ・相談無料・予約制・秘密厳守  
 ・ご予約は、相談開催日の支店まで  
 ・業日16時までにお近くの支店までお問い合わせください  
 ※開催日にお近くの支店までお問い合わせください  
 ※JA神奈川県信連 信託代理店  
 JAセレスア川崎本店 金融推進部  
 <044-877-2140> 当JAが「遺言信託代理業務は契約締結の媒介」「相続・遺言セミナー」  
 23日(金)16:00～17:30 宮前支店



10月のセレスアモス麻生店行事予定

☆出張販売  
 1日(木)11:00～御幸支店  
 4日(日)10:30～等々力競技場  
 15日(木)11:00～みなみ支店  
 17日(土)10:00～セレスアサービス駐車場  
 18日(日)10:00～セレスアサービス駐車場  
 24日(土)10:00～しんゆりマルシェ  
 ※荷がなくなり次第終了となります。  
 ☆毎月第3金曜日は「お米の日」  
 ☆セレスアモスの駐車について  
 麻生警察署からの指導により、駐車場への路上待機は一切できません。  
 ☆セレスアモスでは、毎月各種イベントを開催しています。詳しくは下記ホームページをご確認ください。



橘支部  
ボクシングエクササイズグループ



結成1年になるグループには40代〜60代の元氣いっぱいな10人のメンバーが所属。「ボクシングエクササイズ」と聞くと難しそうに感じるけどボクシングとは全く違うの」と声を揃えます。月2回の練習では常に音楽を流し、楽しい雰囲気の中でストレッチを行ってから、先生の見本に合わせてボクシングのステップやパンチを練習します。



「強くなった気がする」と活力溢れるメンバーたち。パンチを打つ動作がストレス解消にも繋がっています。エクササイズ中でも「だんだん前に移動しちゃう」と笑顔がこぼれ、表情からは疲れを感じさせません。仲の良いメンバーですが、親睦会や旅行を通して、「さらに交流を深めていきたい」と話します。これからも明るく楽しく汗を流し、生き生きと活動を続けます。

# Dish Up!

## 材料 (2人分)

- ・ナス…中5本
- 酢…200cc
- ★ 醤油…大さじ1
- 砂糖…大さじ2~3
- ごま油…大さじ1
- ネギ…1本
- ☆ ショウガ…1片
- ニンニク…1片



## ナスのスタミナ漬け

### 作り方

①☆をみじん切りにし、★と合わせタレをつくっておく。



②ナスを縦半分に切り、味が染みるように斜めに包丁を入れる。



③ナスの皮を下にして素揚げする。しんなりしてきたら、ひっくり返し反対側も揚げる。



④揚げたナスを①のタレに浸し、盛り付けたらできあがり。

### ワンポイントアドバイス

麻生区五カ田 三田 貴子さん  
余ったタレは唐揚げにかけたり、炒め物の味付けに使っても美味しいです。酢が強めのレシピなのでお好みで砂糖の量を調節してください。冷やして食べても美味しいですよ。

